

わの川だより

あおりの川を愛する会

わの川だより 第28号

発行日：令和6年3月31日

「楽しい川づくり？検討会」

青森県県土整備部河川砂防課長 村田 尚樹

目次：

「楽しい川づくり？検討会」	P1
令和5年度総会・講演会 飯詰川源流の地 標柱建立報告書	P4
令和5年度「水辺で乾杯」 水辺関心創造アクション	P5
河川技術講演会	P6
イワナの産卵床づくり	P7
あおりの川の治水物語 ～平川～	P8
駒込ダム 本体建設工事見学会	P9
今年度中止となった事業 令和6年度あおりの川を 愛する会総会のご案内	P10

【はじめに】

青森県県土整備部河川砂防課では、「川づくりに関する技術力を底上げ」を図るため、令和4年12月に、「Aomori River management 2nd stage」（通称「A! River II プロジェクト」）を立ち上げました。

このプロジェクトは、宮本健也前県土整備部長の置き土産でもあり、具体的には、各種検討会、研修会を実施し、それらを反映したマニュアルを作成することなどによって、改めて多自然川づくりの考え方や楽しさを浸透させ、実践していくものだそうです。

さて、私事であるが、この5～6年、職員業務の管理をする立場となつて、計画、設計、施工管理に出くわす場面が極端に減った気がする。私自身、若手だった頃は、上司・先輩の言われるままに、予算を費やすだけの仕事、何もわからず日常を過ごしていたような気がします。とは言うものの、当時は、カメラとポール2本を手にして測量とはいえない調査をし、図面を作成して工事設計書の製本、と言うように常に現場に足を運び、施工現場の諸条件は念入りにチェックした記憶はある。しかし、当時、「多自然川づくり」と言う概念で仕事をした記憶もなければ、それほど知識があるとも思えない。



【私も検討会のメンバーに入りたい！】

令和6年2月6日（火）弘前大学農学生命科学部において、「A! River II プロジェクト 個別砂防プロジェクト 二級河川津梅川の川づくり」に関する「第二回検討会」が開催され、私、村田も当検討会に参画し、あらためて「川づくり」の楽しさを感じたことから、この様子を報告させていただきます。

まず、検討会参加のきっかけは、「第二回検討会」のアドバイザーとして弘前大学農学生命科学部長 東教授が参加することから、県河川砂防課の代表としての出席を砂防Gから要請され、且つ課長・代表者としての役目は無いとの説明を受けていたので、何も考えずに出席することとした。

ところが、検討会前日になって、『「課長明日あいさつお願いします！」「はっ！」「？」』すったもんだで、検討会の詳細を確認したところ、検討会の内容が、楽しく思え、「それは、面白い！俺も検討会のメンバーとします！」即座に回答しました。

【個別砂防プロジェクト ～二級河川津梅川の川づくり～】

それでは、検討会の感想に入る前に、検討課題である「二級河川津梅川の川づくり」について触れてみる。

津梅川については、弘前大学と砂防・地すべり技術センターの共同研究「魚類の生息から見た透過型砂防堰堤の機能」において、「津梅川4号砂防堰堤（河口から約0.9km）付近では、堰堤下流で確認されたサケ・アユ・ヨシノボリ類が堰堤上流で確認されなかったため、堰堤水叩きの下流端にある落差は遡上阻害要因となっている可能性が高いことが推察される。」と記されており、このことから、河川砂防課砂防Gでは、津梅川について現地調査をおこなったところ、4号砂防堰堤以外でも、落差2m超の遡上阻害要因箇所が見受けられたため、「魚がのぼりやすい川づくり」をテーマに検討会を行うこととした。

津梅川は、青森県南西端の西津軽郡深浦町大字大間越地内に位置し、流路延長8.2km、流域面積27.2km²の二級河川である。今回の「魚がのぼりやすい川づくり」をテーマの箇所は、河口から町道橋津梅橋（橋長L=25.2m、全幅員W=6.8m、2径間）そしてJR 橋梁（橋長L=44.4m、全幅員W=3.1m、4径間）の間の100m 区間では河床低下傾向が認められる。そのために、JR 橋脚は橋脚フーチング上面とほぼ同じ高さの護床工（根固めブロック1t/個、約A=W15m×L10m=150m²）が施されており、下流側の一部で欠落は見られるものの、護床機能は保持していると判断される。しかし、この河床低下傾向と護床工機能有効性の間で、護床工下流端側で河床落差が生じており、河川管理施設の健全性の観点からは護床工の確実性が求められると考えられる。また、平水流量時のJR 橋梁付近において、全河床幅20m の中で流れは左岸寄りとなっており、水面幅10m、河床落差が最大2.0m、水深1.0m の淵が形成されている。魚類等の生息・遊泳の場とはなっているものの、河川における生息環境の連続性は途切れている現状にあると確認されている。



資料1 共同研究発表資料



津梅川流域概要



津梅川河口付近の状況



町道橋付近の状況



JR橋付近の状況



河川公園付近の状況



河川公園より上流の状況

【検討会スタート！！】

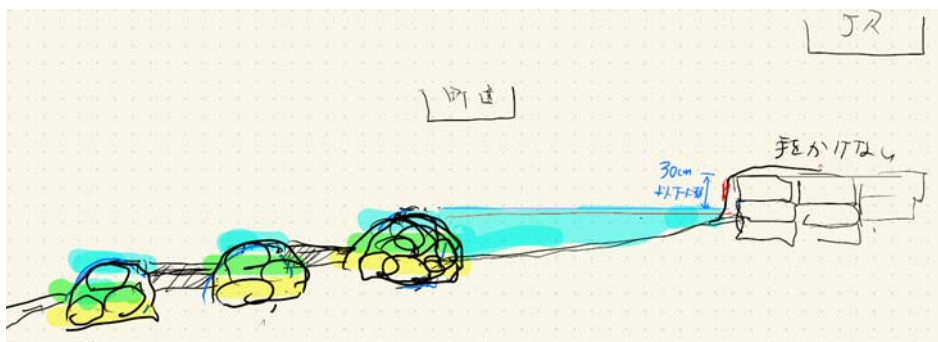
さて、川づくり検討会と言っても個人的には、入庁30年以上になるが、橋梁・農業施設等附帯構造物の担当が多く、川づくりは座学が主流であったため、現場経験が少ないこともあり、少し不安なそれでも楽しみな検討会に参加させて頂きました。

それでは、我が精鋭メンバーを紹介しよう。まずは、わたくし【河川砂防課長 村田尚樹】、【河川・海岸GM 野宮一宏】、【ダムGM 藤田貴志】、【砂防GM 川村昌弘】、そして最後に【八木澤聡？（何故いるのかは詮索しないでください！）】の人生の半分を過ぎた5名で望みました。



検討中の様子

何だかんだで、40分間メンバーと議論した結果がこちら



発表の様子



最後の発表の場において、平均年齢54歳代班は、元気よく検討内容を説明し、全体を通して有意義な時間となりました。

【検討会を通じ感じた事】

今回の検討会はあくまでも計画概要であり、いわゆる概略設計である。これから、予備・詳細・実施設計と段階を重ね、工事着手・施工・工事完了・フォローアップ調査となるわけだが、最後まで見届けられないのが残念に思ったところです。現在の河川砂防課長と言う職位をちらつかせて最後まで参画することも出来るが、ここは身を引いて、人財育成という観点から見守ることとしたい。

なお、津梅川のような「研究課題テーマ」のある河川において、あおもりの川を愛する会と県河川管理者とのコラボ【あおもりの川を愛する川づくり】も有りかな？とふと思いました。

●令和5年度 総会・講演会 あおもりの川を愛する会 事務局

令和5年度総会をアラスカ会館に於いて開催しました。

当日は日本河川協会専務理事黒川純一良氏よりご挨拶をいただきました。総会終了後、声楽器楽混成団体「弘前バッハアンサンブル」による演奏会を開催しました。（参加者35名）



佐々木会長挨拶



「弘前バッハアンサンブル」による演奏



黒川専務理事挨拶

●飯詰川源流域の標柱建立活動 あおもりの川を愛する会 事務局

令和5年7月13日標柱の建立を五所川原市に流れる飯詰川の源流の地に標柱を建立しました。

毎年1ヶ所、源流の地に標柱を建立しており、今年で17本目となりました。（参加者16名）
＜大畑川、野辺地川、蟹田川、田名部川、土淵川、天田内川、浅水川、鳴沢川、十川、松館川、熊ノ沢川、浅瀬石川、大童子川、川内川、浅虫川、熊原川＞



●令和5年度「水辺で乾杯」水辺関心創造アクション あおもりの川を愛する会 事務局

全国一斉社会実験として水辺関心創造アクションが7月7日午後7時7分に行われました。当会も参加し各場所（堤川32人、土淵川17人、旧田名部川27人、浅水川18人、旧十川31人、官庁街通りせせらぎ水路10人）に集まって頂き川のほとりで乾杯致しました。（参加者 135名）



● 堤川 32人 ●



● 官庁街通りせせらぎ水路 10人 ●



● 土淵川 17人 ●



● 浅水川 18人 ●



● 旧十川 31人 ●



● 旧田名部川 27人 ●

●河川技術講演会（青森河川文化講演会）
あおもりの川を愛する会 事務局

令和5年8月4日 五所川原市「オルテンシア」ふるさと交流圏民センターに於いて「河川技術講演会」を開催しました。

講師は、国土交通省東北地方整備局河川部長 成田秋義氏が演題「“流域治水”の実践に向けて」と（公財）日本下水道新技術機構理事長 塩路勝久氏が演題「下水道事業の最近の取組～内水氾濫対策を中心として～」で行いました。（参加者226名）



講師 成田秋義氏



五所川原市 佐々木市長挨拶



講師 塩路勝久氏



宮下知事挨拶



佐々木会長挨拶

●新イワナの産卵床づくり

あおもりの川を愛する会 事務局

令和5年10月12日 蔦川の小溪流に今年で17回目になります「イワナの人工産卵床」を2ヶ所設置しました。合わせて現状の魚道点検を行いました。（参加者15名）



●あおもりの川の治水物語 ～平川～
あおもりの川を愛する会 事務局

令和5年10月26日、中南地域県民局合同庁舎に於いて県内河川の治水計画の経過・変遷に着目した勉強会・報告会を開催しました。（参加者50名）



中南地域整備部 阿部伸樹部長



河川砂防施設課 宮下義史課長



●駒込ダム本体建設工事見学会 あおもりの川を愛する会 事務局

令和5年11月2日、駒込ダム建設所のご協力を頂き、「駒込ダム本体建設工事見学会」を行いました。（参加者9名）



転流工（堤外仮排水トンネル）



●今年度中止となった事業
あおもりの川を愛する会 事務局

今年度実施予定だったものの、残念ながら中止となってしまった事業をお知らせします。

【中止となった事業】

- ・第18回蔦川（つたがわ）清掃活動
- ・津波講演会



●令和6年度 あおもりの川を愛する会総会のご案内
あおもりの川を愛する会 事務局



令和6年度の総会を5月16日（木）に予定しております。

総会後には、講演会も開催する予定となっております。詳細については後日改めてご案内いたしますので、ご繁忙中恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようご案内申し上げます。

●あおもりの川を愛する会 事務局より

あおもりの川を愛する会

「あおもりの川を愛する会」は27年目を迎えることになりました。現在の会員数は191名となっています。

今年度も会員の協力のもと、さまざまな活動を行う事が出来ました。これからも会の活性化が図れるよう頑張っていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

【事務局】 〒030-0111
青森県青森市荒川字柴田102番地1

TEL: 017-729-0922

FAX: 017-739-3561

E-mail: kon-h@nishidagumi.co.jp